

| 市町村名 | 対象地区名（地区内集落名） | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|---------------|-----------|----------|
| 小山市 | 小山・大谷地区（稲葉郷） | 令和3年3月19日 | |

1 対象地区の現状

| | |
|---|-------|
| ①地区内の耕地面積 | 4.3ha |
| ②アンケート調査等に回答した農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 3ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 2.5ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 0.6ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 0ha |
| <p>（備考）</p> <p>③ i は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、「その他」と回答したものの農地の面積の集計</p> <p>③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、アンケートに未回答もしくはアンケート未実施の者の農地の面積の集計</p> <p>なお、③のうち、「後継者がいない」と回答した者の農地の合計面積は、1.4haである。</p> | |

2 対象地区の課題

当集落には、中心経営体となる認定農業者はいない。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が、2ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

| 市町村名 | 対象地区名（地区内集落名） | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|---------------|-----------|----------|
| 小山市 | 小山・大谷地区（神鳥谷） | 令和3年3月19日 | |

1 対象地区の現状

| | |
|---|--------|
| ①地区内の耕地面積 | 21.3ha |
| ②アンケート調査等に回答した農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 12.9ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 6.6ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 4.6ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 0ha |
| <p>（備考）</p> <p>③ i は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、「その他」と回答したものの農地の面積の集計</p> <p>③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、アンケートに未回答もしくはアンケート未実施の者の農地の面積の集計</p> <p>なお、③のうち、「後継者がいない」と回答した者の農地の合計面積は、1.9haである。</p> | |

2 対象地区の課題

当集落には、中心経営体となる認定農業者は1経営体ある。その他、集落営農組織および人・農地プランにおいて中心経営体に位置付けられている経営体は存在しない。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が、6.5ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者1経営体が担うこととするほか、現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととし、さらに隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。

| 市町村名 | 対象地区名（地区内集落名） | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|------------------------|-----------|-----------|
| 小山市 | 小山・大谷地区 (土塔・犬塚・中久喜) | 令和3年3月19日 | 令和6年2月27日 |

1 対象地区の現状

| | |
|---|----------|
| ①地区内の耕地面積 | 156.86ha |
| ②アンケート調査等に回答した農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 88ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 47.49ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 0ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 29.69ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 14.15ha |
| <p>(備考)</p> <p>③ i は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、「その他」と回答したものの農地の面積の集計</p> <p>③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、アンケートに未回答もしくはアンケート未実施の者の農地の面積の集計</p> <p>なお、③のうち、「後継者がいない」と回答した者の農地の合計面積は、土塔で0ha、犬塚で5.7ha、中久喜で4.8haである。</p> | |

2 対象地区の課題

| |
|---|
| <p>(土塔)</p> <p>当集落には、中心経営体となる認定農業者は1経営体ある。その他、人・農地プランにおいて中心経営体に位置付けられている経営体は存在しない。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積が、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計を超えており、農地の受け手は確保されている。</p> <p>(犬塚)</p> <p>当集落には、中心経営体となる認定農業者は3経営体ある。その他、人・農地プランにおいて中心経営体に位置付けられている経営体は存在しない。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が、10.37ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。</p> <p>(中久喜)</p> <p>当集落には、中心経営体となる認定農業者は2経営体ある。その他、人・農地プランにおいて3経営体が中心経営体に位置付けられている。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が、17.03ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。</p> |
|---|

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

| |
|---|
| <p>(土塔)</p> <p>当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者1経営体が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。</p> <p>(犬塚)</p> <p>当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者3経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。</p> <p>(中久喜)</p> <p>当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者2経営体、非認定農業者3経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。</p> |
|---|

| 市町村名 | 対象地区名（地区内集落名） | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|-------------------------------|-----------|-----------|
| 小山市 | 小山・大谷地区（塚崎・横倉新田・横倉・田間・武井・東野田） | 令和3年3月19日 | 令和6年2月27日 |

1 対象地区の現状

| | |
|---|----------|
| ①地区内の耕地面積 | 783ha |
| ②アンケート調査等に回答した農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 465.3ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 204.6ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 9.52ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 132ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 140.83ha |
| (備考) ③ i は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、「その他」と回答したものの農地の面積の集計 ③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、アンケートに未回答もしくはアンケート未実施の者の農地の面積の集計 なお、③のうち、「後継者がいない」と回答した者の農地の合計面積は、39.3haである。 | |

2 対象地区の課題

| |
|--|
| <p>今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が、「横倉新田」では1.69ha多く、「武井」では18.36ha多く、「東野田」では32.937ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要である。一方、「塚崎」「横倉」「田間」では、中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積が、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計を超えており、農地の受け手は確保されている。田・畑の区画、農道の幅が小さく、大型機械の導入が困難。権利設定の手続きを経ない県外からの入り作が多い。</p> <p>「横倉新田」「横倉」「田間」「武井」では、「大谷東部地区基盤整備事業」を導入中。「塚崎」「田間」では、「塚崎・田間地区基盤整備事業」の導入に向け調査中。</p> |
|--|

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

| |
|---|
| <p>(塚崎) 当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者11経営体、非認定農業者4経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。また、基盤整備の区域においては、特に、担い手への集積を進める。</p> <p>(横倉新田) 当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者2経営体、認定新規就農者1経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。また、基盤整備の区域においては、特に、担い手への集積を進める。</p> <p>(横倉) 当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者2経営体、認定新規就農者1経営体、非認定農業者8経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。また、基盤整備の区域においては、特に、担い手への集積を進める。</p> |
|---|

(田間)

当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者4経営体、認定新規就農者1経営体、非認定農業者7経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。また、基盤整備の区域においては、特に、担い手への集積を進める。

(武井)

当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者17経営体、非認定農業者5経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。また、基盤整備の区域においては、特に、担い手への集積を進める。

(東野田)

当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者16経営体、認定新規就農者1経営体、非認定農業者2経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。また、「塚崎・東野田地区基盤整備事業」は完了したが、さらに担い手への集積を推進する。

| 市町村名 | 対象地区名（地区内集落名） | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|---------------|-----------|-----------|
| 小山市 | 小山・大谷地区（雨ヶ谷） | 令和3年3月19日 | 令和6年2月27日 |

1 対象地区の現状

| | |
|---|--------|
| ①地区内の耕地面積 | 54.5ha |
| ②アンケート調査等に回答した農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 29.5ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 22.6ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 0ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 13.8ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 1.16ha |
| <p>（備考）</p> <p>③ i は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、「その他」と回答したものの農地の面積の集計</p> <p>③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、アンケートに未回答もしくはアンケート未実施の者の農地の面積の集計</p> <p>なお、③のうち、「後継者がいない」と回答した者の農地の合計面積は、4.3haである。</p> | |

2 対象地区の課題

当集落には、中心経営体となる認定農業者は3経営体あり、そのほか、人・農地プランにおいて1経営体が中心経営体に位置付けられている。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が16.94haを超えており、新たな農地の受け手が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者3経営体および非認定農業者1経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。

| 市町村名 | 対象地区名（地区内集落名） | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|---------------|-----------|-----------|
| 小山市 | 小山・大谷地区（南和泉） | 令和3年3月19日 | 令和5年2月28日 |

1 対象地区の現状

| | |
|---|---------|
| ①地区内の耕地面積 | 146.2ha |
| ②アンケート調査等に回答した農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計 | 88.3ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 31.5ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 0ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 18.5ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 14.35ha |
| <p>（備考）</p> <p>③ i は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、「その他」と回答したものの農地の面積の集計</p> <p>③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、アンケートに未回答もしくはアンケート未実施の者の農地の面積の集計</p> <p>なお、③のうち、「後継者がいない」と回答した者の農地の合計面積は、6.1haである。</p> | |

2 対象地区の課題

当集落には、中心経営体となる認定農業者は7経営体、その他、人・農地プランにおいて4経営体が中心経営体に位置付けられている。中心経営体の引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積、後継者不明の農業者の耕作面積および後継者がいない農業者の耕作面積の合計が、10ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者7経営体、非認定農業者4経営体および現在の入り作者（他集落における中心経営体）が担うこととするほか、隣接する集落からの入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。